



令和3年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光
 四半期報告書提出予定日 令和3年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06(6635)0201

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年3月期第3四半期の連結業績(令和2年4月1日～令和2年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年3月期第3四半期	25,571	△20.3	1,848	△36.7	2,146	△30.5	1,577	△34.2
2年3月期第3四半期	32,095	△3.6	2,919	△20.2	3,088	△22.1	2,395	△10.7

(注) 包括利益 3年3月期第3四半期1,922百万円(△25.0%) 2年3月期第3四半期 2,562百万円(13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年3月期第3四半期	201 02	—
2年3月期第3四半期	304 12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年3月期第3四半期	54,340	41,508	76.3	5,287 13
2年3月期	54,118	40,293	74.4	5,131 39

(参考) 自己資本 3年3月期第3四半期 41,485百万円 2年3月期 40,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年3月期	—	30 00	—	60 00	90 00
3年3月期	—	30 00	—	—	—
3年3月期(予想)	—	—	—	30 00	60 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年3月期の連結業績予想(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,700	△22.4	2,200	△42.2	2,300	△42.2	1,700	△42.7	216 64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	3年3月期3Q	7,949,580株	2年3月期	7,949,580株
② 期末自己株式数	3年3月期3Q	103,115株	2年3月期	102,333株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	3年3月期3Q	7,876,914株	2年3月期3Q	7,876,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
<参考資料>	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつも、経済活動の再開が進められ、景気は緩やかに持ち直してきました。企業部門では、設備投資の減少が続いていますが、個人消費は特別定額給付金、Go To キャンペーンなどの政策効果により持ち直しの兆しがありました。但し、新型コロナウイルスの感染再拡大を受け、首都圏、関西圏などで緊急事態宣言が再発令され、今後は個人消費の落込みや企業業績への悪影響が予想されます。

当社グループが属しておりますステンレス業界は、自動車関連など回復の兆候もありますが、全体的には需要が低迷している中、ニッケル市況の高騰を受けて材料価格が上昇するなど懸念が残されております。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は255億71百万円（前年同四半期比20.3%減）となりました。前年同四半期に比べ販売数量の減少により売上高は減少しております。収益面におきましては、生産高の減少による工場稼働率の低下等により、営業利益は18億48百万円（前年同四半期比36.7%減）、経常利益は雇用調整助成金も加え、21億46百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益がありましたが、前年同四半期は固定資産の売却益があったため、15億77百万円（前年同四半期比34.2%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は249億46百万円（前年同四半期比18.9%減）、セグメント営業利益は17億41百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、配管用が数量の減少により、また自動車用も上期の自動車メーカーの生産調整で数量が減少したため、売上高は134億91百万円（前年同四半期比16.0%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて価格は維持しましたが、数量が減少したため、売上高は73億2百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

ステンレス加工品部門は、物干竿等の家庭用金物製品、給湯器用フレキ管ともに減少したため、売上高は10億6百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

鋼管部門は、建設仮設材用が振るわず、数量の減少と価格の低下により、売上高は27億76百万円（前年同四半期比30.1%減）となりました。

機械部門は、取引先の設備投資意欲の減退により、販売台数が減少し、売上高は3億69百万円（前年同四半期比46.4%減）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた現地の四輪、二輪メーカーの生産回復が遅れており、売上高は4億45百万円（前年同四半期比56.1%減）となりました。

セグメント営業損益は57百万円の損失となりました。

(そ の 他)

その他事業の自転車の販売は、コロナ禍でのメーカーの生産停滞や集客の減少などにより、売上高は1億78百万円（前年同四半期比42.4%減）となりました。セグメント営業損益は8百万円の損失となりましたが、旗艦店である梅田店の一店舗体制としたことで、前年同四半期に比べ30百万円損失を縮小させることができました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日 本						
ステンレス管	16,056	50.0	13,491	52.8	21,308	50.6
ステンレス条鋼	8,720	27.2	7,302	28.6	11,505	27.3
ステンレス加工品	1,331	4.1	1,006	3.9	1,701	4.0
鋼 管	3,970	12.4	2,776	10.9	5,054	12.0
機 械	689	2.1	369	1.4	873	2.1
インドネシア	1,016	3.2	445	1.7	1,361	3.2
そ の 他	310	1.0	178	0.7	354	0.8
合 計	32,095	100.0	25,571	100.0	42,160	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は543億40百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億22百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加13億59百万円、受取手形及び売掛金の減少18億61百万円、電子記録債権の増加4億59百万円、たな卸資産の減少14億8百万円、有形固定資産その他(純額)の増加9億53百万円などであり、負債の部は9億94百万円減少いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少8億43百万円、電子記録債務の減少7億63百万円、未払法人税等の減少5億67百万円、流動負債(その他)の増加9億円などであり、

当第3四半期連結会計期間末の純資産は415億8百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億15百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が8億71百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が3億47百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.9ポイント上昇し、76.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和2年7月31日の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,944	10,303
受取手形及び売掛金	10,625	8,764
電子記録債権	3,785	4,244
たな卸資産	10,198	8,790
その他	210	333
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	33,749	32,423
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,722	7,936
その他(純額)	7,342	8,295
有形固定資産合計	15,065	16,232
無形固定資産		
その他	22	29
無形固定資産合計	22	29
投資その他の資産		
その他	5,289	5,663
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,281	5,655
固定資産合計	20,369	21,917
資産合計	54,118	54,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,958	2,115
電子記録債務	5,196	4,433
短期借入金	636	636
未払法人税等	635	68
賞与引当金	381	144
その他	1,592	2,492
流動負債合計	11,399	9,889
固定負債		
長期借入金	1,300	1,515
役員退職慰労引当金	226	175
環境対策引当金	55	53
退職給付に係る負債	182	184
その他	660	1,012
固定負債合計	2,425	2,941
負債合計	13,825	12,831

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,659	7,659
利益剰余金	24,519	25,390
自己株式	△306	△307
株主資本合計	39,232	40,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	533	886
為替換算調整勘定	494	488
退職給付に係る調整累計額	6	6
その他の包括利益累計額合計	1,034	1,381
非支配株主持分	25	23
純資産合計	40,293	41,508
負債純資産合計	54,118	54,340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
売上高	32,095	25,571
売上原価	24,941	19,892
売上総利益	7,154	5,679
販売費及び一般管理費	4,234	3,831
営業利益	2,919	1,848
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	60	54
持分法による投資利益	115	64
雇用調整助成金	—	210
その他	35	30
営業外収益合計	221	368
営業外費用		
支払利息	6	6
売上割引	19	16
為替差損	15	40
その他	11	6
営業外費用合計	52	70
経常利益	3,088	2,146
特別利益		
固定資産売却益	351	—
投資有価証券売却益	—	148
特別利益合計	351	148
特別損失		
固定資産除却損	11	3
投資有価証券売却損	4	—
特別損失合計	16	3
税金等調整前四半期純利益	3,423	2,291
法人税、住民税及び事業税	909	598
法人税等調整額	117	117
法人税等合計	1,026	715
四半期純利益	2,397	1,576
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,395	1,577

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年12月31日)
四半期純利益	2,397	1,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	353
為替換算調整勘定	△7	△27
退職給付に係る調整額	△8	0
持分法適用会社に対する持分相当額	26	19
その他の包括利益合計	165	345
四半期包括利益	2,562	1,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,561	1,924
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,769	1,016	31,785	310	32,095	—	32,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,212	—	3,212	—	3,212	△3,212	—
計	33,982	1,016	34,998	310	35,308	△3,212	32,095
セグメント利益又は 損失(△)	2,778	40	2,819	△38	2,781	137	2,919

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インドネシア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	24,946	445	25,392	178	25,571	—	25,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,507	—	2,507	—	2,507	△2,507	—
計	27,454	445	27,899	178	28,078	△2,507	25,571
セグメント利益又は 損失(△)	1,741	△57	1,684	△8	1,676	171	1,848

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自転車関連商品の販売にかかる事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

— 以上 —

<参考資料>

令和3年1月29日
モリ工業株式会社

令和3年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R2. 12. 末	増 減		前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R2. 12. 末	増 減
流動資産	33,749	32,423	△1,326	流動負債	11,399	9,889	△1,510
現金及び預金	8,944	10,303	1,359	支払手形及び買掛金	8,154	6,548	△1,606
受取手形及び売掛金	14,411	13,008	△1,403	短期借入金	636	636	0
たな卸資産	10,198	8,790	△1,408	未払法人税等	635	68	△567
その他	195	320	125	引当金	381	144	△237
				その他	1,592	2,492	900
固定資産	20,369	21,917	1,548	固定負債	2,425	2,941	516
有形固定資産	15,065	16,232	1,167	長期借入金	1,300	1,515	215
土地	7,722	7,936	214	役員退職慰労引当金	226	175	△51
その他	7,342	8,295	953	繰延税金負債	411	691	280
無形固定資産	22	29	7	その他	488	559	71
投資その他の資産	5,281	5,655	374	負債合計	13,825	12,831	△994
投資有価証券	2,979	3,331	352	純資産	40,293	41,508	1,215
退職給付に係る資産	1,356	1,378	22	株主資本	39,232	40,103	871
その他	945	944	△1	資本金・資本剰余金	15,020	15,020	0
				利益剰余金	24,519	25,390	871
				自己株式	△306	△307	△1
				その他の包括利益累計額	1,034	1,381	347
				非支配株主持分	25	23	△2
資産合計	54,118	54,340	222	負債・純資産合計	54,118	54,340	222

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第3四半期	当第3四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.72	3.09	0.37

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
1,167	1,970	752	△2	△53
日本 (1,271)	(1,951)	(680)	(0)	(—)
インドネシア (△104)	(19)	(72)	(△2)	(△53)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R2. 3. 末	当四半期末 R2. 12. 末	増 減
有利子負債①	1,946	2,161	215
現預金等換金性のもの②	8,944	10,303	1,359
実質有利子負債①-②	△6,997	△8,142	△1,145

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 H31.4-R1.12	百分比 %	当第3四半期 R2.4-R2.12	百分比 %	増減
売上高	32,095	100.0	25,571	100.0	△6,524
売上原価	24,941	77.7	19,892	77.8	△5,049
売上総利益	7,154	22.3	5,679	22.2	△1,475
販売費及び一般管理費	4,234	13.2	3,831	15.0	△403
営業利益	2,919	9.1	1,848	7.2	△1,071
営業外収益	221	0.7	368	1.4	147
受取利息	10		8		
受取配当金	60		54		
持分法投資利益	115		64		
雇用調整助成金	—		210		
その他	35		30		
営業外費用	52	0.2	70	0.3	18
支払利息	6		6		
売上割引	19		16		
為替差損	15		40		
その他	11		6		
経常利益	3,088	9.6	2,146	8.4	△942
特別利益	351	1.1	148	0.6	△203
固定資産売却益	351		—		
投資有価証券売却益	—		148		
特別損失	16	0.0	3	0.0	△13
固定資産除却損	11		3		
投資有価証券売却損	4		—		
税引前四半期純利益	3,423	10.7	2,291	9.0	△1,132
法人税等	1,026	3.2	715	2.8	△311
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0.0	△1	0.0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,395	7.5	1,577	6.2	△818

6. 当第3四半期の経常利益増減要因 (前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 変動比率の減少	678	1. 生産金額 (量・価格含む) の減少	△2,129
2. 固定費の減少	534	2. 棚卸評価差損益	△116
3. その他	117	3. 為替差損益	△26
計	1,329	計	△2,271
		差引	△942